

【ベラドンナ】



学名： *Atropa belladonna* Linné

科名：ナス科 (*Solanaceae*)

属名：ベラドンナ属 (*Atropa*)

和名：オオハシリドコロ、セイヨウハシリドコロ、
オオカミナスビ

産地と分布：ヨーロッパ南西部から西アジアにかけての乾燥地域に分布し、
薬用として各地で栽培されている

図 1, ベラドンナ (東京理科大学植物園)

多年生草本植物であり、草丈は通常 1~2 m 程である。茎は直立し、上部で分枝する。葉は長さが 20 cm、下部で互生、上部で叢生し、形は卵形か楕円形でやや尖頭。花期は8月~9月で葉腋に青紫色の鐘状花を単生する。果実は球状の液果で熟すと紫黒色になる。完熟したベラドンナの果実はブルーベリーと見た目が見ているため、誤認して食べてしまう事例も発生している。

名前の「*Belladonna* (ベラドンナ)」はイタリア語で「美しい貴婦人」という意味。中世ヨーロッパのルネサンス期には貴婦人達が美しく見せるために、この植物の葉の汁を点眼して散瞳作用で目をぱっちりさせていたという。「美しい貴婦人」の呼び名はこれが由来とされている。属名の「*Atropa* (アトロパ)」はギリシャ神話に登場するアトロポス (*Atropos*) という、運命の三女神の1人、運命の糸を断ち切る役割をもつ女神に由来。

生薬：ベラドンナコン (日本薬局方収載)

基原：*Atropa belladonna* Linné

薬用部：根

薬効・用途：鎮痛、鎮痙、消化液分泌抑制、アトロピン硫酸塩水和物[Ⓜ] (散瞳薬、副交感神経遮断薬)

及びスコポラミン臭化水素酸塩水和物[Ⓜ] (鎮静薬、副交感神経遮断薬) の製造原料

成分：トロパンアルカロイド [*l*-hyoscyamine, atropine (hyoscyamine, のラセミ体), scopolamine]

クマリン類 (scopolin)

確認試験：アトロピン (TLC)

ナス科のハシリドコロ (*Scopolia japonica Maxim.*) を基原とする生薬のロートコンは、ベラドンナコンと同様にアトロピン、スコポラミンを主成分として含んでおり、歴史的にも非常に深い関係がある。ベラドンナコンは主にエキスとして使用されることが多く、ロートコンはエキス及びアトロピン、スコポラミンの製造原料としても多く使われている。これらは眼科治療や乗り物酔い止めに応用される。

アトロピンは副交感神経遮断作用があり、平滑筋や気管支の弛緩、散瞳、分泌抑制が見られる。有機リン剤中毒の解毒剤としても使用され、地下鉄サリン事件でも使用された。(ロートコンの項参照)

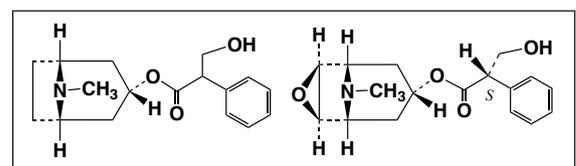


図2 atropine (左), scopolamine (右)

【参考文献】

熊本大学薬学部 薬草園 <https://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/yakusodb/detail/003434.php>

ウチダ和漢薬 <https://www.uchidawakanyaku.co.jp/kampo/tamatebako/shoyaku.html?page=279>

薬用植物学 改訂第7版 水野瑞夫 南江堂

新訂生薬学 改訂第9版 南江堂

2023/09/15 4YP M.H